
会 告

会員入会勧誘についてのお願い

本会は明年創立 50 周年を迎え、4 月には盛大な式典を挙行いたすこととなりました。

この間、本会は会員各位のご尽力により順調な発展を遂げ、わが国鉄鋼技術、学術に関する最も権威ある学会として内外にその重きを加えております。

正会員、学生会員数においても、その数は年々増加し、現在 9000 有余名を擁するにいたりましたが、来るべき創立 50 周年の記念すべき日までに、会員数を10,000名とし、本会事業の一段の飛躍を計り、もつてわが国鉄鋼界の発展に貢献いたしたいとお願いいたしております。

会員各位におかれましても、本会の意を了とせられ勤務先、お知合いの方々で非会員の方がおられましたら入会のご勧誘方お願いいたします。

なお入会申込書は本誌に綴込みましたのでご利用下さい。

会費お払込みについてのお願い

昭和 40 年分会費の納入期がまいりましたので、綴込みの振替用紙ご利用のうえお払込み下さいますようお願い申し上げます。またご都合で、下記本会取引銀行にお払込み下さいますも結構でございます。

会費のお払込みは、毎年 12 月翌年 1 月から 12 月までの 1 年分（暦年制）を 1 度にお払込みになるか、12 月に翌年 1 月から 6 月までの 6 カ月分を、6 月にその年の 7 月から 12 月までの 6 カ月分を 2 度にかけてお払込みいただくことになっておりますから、念のため申添えます。

記

正会員会費 2,000 円

学生学生会費 1,200 円

送付先

東京都千代田区丸の内 1 丁目 1 番地 交通公社ビル

社団法人 日本鉄鋼協会

振替貯金口座

東京 193 番

取引銀行

三菱銀行鉄鋼ビル支店、第一銀行本店、住友銀行東京支店

東海銀行丸の内支店、日本勧業銀行東京駅前支店

刊 行 図 書 分 譲 案 内

訪英鉄鋼視察団報告書

I. 英国鉄鋼業の現況 総括編

(1) 内 容

1. 鉄鋼業を中心にした英国の一般状勢
2. 歴史的背景と地理的分布
3. 構造および組織
4. 原料事情および立地条件
5. 価格政策および市場構造
6. 工場建設と投資
7. 製鉄および製鋼関係技術
8. 圧延および製鋼関係技術
9. オートメーションの現状とその研究
10. 研究開発および品質管理組織
11. 労働および教育訓練
12. 英国鉄鋼協会総会の模様

(2) 発 行 昭和39年9月25日

(3) 頒 価 会 員 600円 (送料1部 60円)
非会員 900円

(4) 申込方法 「視察団報告書・総括編」および送付先を明記、代金ならびに送料を同封のうえ、現金書留にてお申込み下さい。

訪英鉄鋼視察団報告書

II. 英国鉄鋼業の現況 各論編

(1) 内 容

1. 製鉄について
2. 製鋼について
3. 連続鑄造について
4. 条鋼圧延について
5. 厚板圧延および熱間帯鋼圧延について
6. 薄板および表面処理について
7. 製管工業について
8. オートメーションの現状とその研究について
9. 工場建設について
10. 研究について
11. 鉄鋼業標準化について

(2) 発 行 昭和39年12月下旬の予定

(3) 頒 価 会 員 1,200円 (送料1部概算)
非会員 1,800円 (送料200円)

(4) 申込方法 「視察団報告書・各論編」および送付先を明記、代金ならびに送料を同封のうえ現金書留にてお申込み下さい。

なお、送料は地域、重量によつて発送方法を変えますので、概算額を送付願、現品発送の際に精算いたします。

III. 鋼の脱酸の物理化学的原理

(1) 内 容

1. 鉄と酸素
2. 各種元素の脱酸能
3. 溶鉄中の酸素の活量におよぼす脱酸元素の影響
4. 脱酸反応物の生成と溶鋼からの分離
5. 鋼の再酸化
6. 脱酸元素とイオウ、窒素との反応
7. 真空中の鋼の脱酸
8. 将来における研究の動向と内容

(2) 著 者 A. M. SAMARIN (ソ連)

(3) 訳 者 九州大学工学部教授鉄鋼冶金教室
工博 川合保治

東北大学選鉱製錬研究所教授

工博 大谷正康

(4) 発 行 昭和39年12月下旬の予定

(5) 頒 価 会 員 900円 (送料1部概算100円)
非会員 1,300円

(6) 申込方法 「鋼の脱酸」および送付先を明記のうえ、代金(送料とも)を同封現金書留にてお申込み下さい。

なお、送料は未定のため、概算額で払込み願、現品発送の際に精算いたします。

分譲申込先

東京都千代田区丸の内 1-1 交通公社ビル

日 本 鉄 鋼 協 会

電 (212) 7851 (代表)

振替貯金口座 東京 193 番

日本鉄鋼協会「特別報告書」の刊行について

本会では共同研究会（昭和38年1月以前は鉄鋼技術共同研究会）の研究成果を会誌「鉄と鋼」の記事中に、または臨時増刊号として掲載、会員各位に報告いたしました。

しかしながら限られたページ数では、研究成果を網羅することはできず、貴重なデータを相当量割愛して会誌に掲載を図っておりました。研究成果の発表は十分な内容を含み、かつ速報性を要求されるものでありますが、論文その他掲載原稿の増加などにより、誌面が大きな制約を受け、その掲載が遅れておるのが現状であります。

加えて、今後本会内における共同研究会以外の各種調

査、研究委員会の活動が一段と活発となり、研究成果あるいは報告書の発表が予想されます。

本会では、このような情勢に鑑み、いろいろ検討の結果共同研究会ならびに各種調査、研究委員会から提出される研究成果の報告書は「特別報告書」として、その都度単独刊行し、購読希望者に有償頒布することに決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお会員各位には最少限の負担に止まるよう最善の努力を払いますが、本会の意を了とせられ、ご協力下さるようお願いいたします。

九州支部 渡辺(義介)記念講演会開催案内

本会九州支部は渡辺(義介)記念講演会を下記により開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和40年2月12日(金) 13時から
2. 会 場 熊本大学工学部工業技術研究所講演室

3. プログラム

1. 映画 「明日の鉄鋼」 50分 八幡製鉄所提供
2. 講演
演題および講師
「最近における鉄鋼材料の進歩」
熊本大学工学部教授 工博 堀田秀次君
3. 見学 有明製鉄株式会社熊本工場
16時～16時30分

東海支部 金属の疲労と設計講習会開催案内

期 日 昭和40年2月10日(水)
場 所 中部科学技術センター
名古屋市中区白川町 3-1
名古屋科学館内 (TEL 20-4486)
共 催 本会東海支部および日本材料学会中部支部ほか
3学協会

題目および講師

- | | |
|-------------|---|
| 9:30~11:30 | 疲労強度概論(試験法, 仕上, 寸法, 切欠の影響, 疲れを考えた設計法と安全率)
都立大工 川田雄一君 |
| 11:30~12:30 | 実働荷重による疲労(プログラム疲労試験の計画と実施)
立命大理工 関 護雄君 |
| 13:30~14:30 | 実働荷重による疲労(実働荷重と部品強度の推定)
豊田中研 青山成恒君 |
| 14:40~15:40 | 溶接の疲労強度 鉄道技研 多田美朝君 |

15:40~16:40 アルミニウム合金溶接接手の疲労強度
住友軽金属 竹内勝治君

申込締切 昭和40年2月5日 定員 100名

聴講料 正会員 1,200円 学生会員 1,000円
非会員 1,500円

いずれも教材1部を含む。共催学会会員は正会員とします。

教材のみご希望の方は1部600円にて頒布いたします。但し、講習会終了後送付いたしません。

申込方法 随意様式に氏名、会員資格、所属、連絡先等明記のうえ現金書留または為替にて

日本材料学会中部支部(名古屋市中区千種区不老町 名古屋大学工学部土木教室内 成岡昌天)宛お申込みください。

その他 申込到着次第聴講券をお送りいたします。申込後取消しのお申出があつても聴講料は返金いたしません。

第3回原子力総合シンポジウム開催案内

1. 期 日 昭和40年2月15日(月), 16日(火)
 2. 会 場 東京都千代田区神田錦町 3-28
 学士会館 大集会室(A会場), 北大食堂(B会場)
 3. 共催学協会 日本原子力学会, 日本鉄鋼協会ほか24学協会

詳細についてのお問い合わせは, 原子力総合シンポジウム運営委員会(東京都港区田村町1の1東電田館, 日本原子力研究所内 日本原子力学会気付)へ直接ご連絡下さい。

第1日 2月15日(月)

A会場(大集会室)

講演1 9:45~10:35

動力炉開発の現状と日本の立場
 原子力委員 武田 栄一君

講演2 10:35~11:25

安全性関係 電試 山田 太三郎君

講演3 11:25~12:15

原子炉の熱利用(海水脱塩など)
 東大 大島 恵一君

昼 休 (12:15~13:15)

討論会 13:15~16:00

日本の原子力発電開発に関する燃料サイクル上の諸問題

B会場(北大食堂)

総合講演 10:00~12:00

原子炉压力容器の照射脆化に関する諸問題
 討論会 13:00~16:00

原子炉事故後冷却装置に関する討論会

座長 内田 秀雄君

(1) 冷却材喪失時の炉内変化(20分)

電試 竹越 尹君

(2) 冷却材の流出(20分)

東大 成合 英樹君

(3) コアスプレー(20分)

日立 森島 国男君

(4) 圧力抑制装置(20分)

NAIG 市野 市郎君

(5) コンテナ・スプレー(20分)

三菱原子力 川口 修君

第2日 2月16日(火)

A会場(大集会室)

総合講演 9:30~12:00

放射性廃棄物処理・処分の諸問題

討論会 13:00~16:00

核燃料再処理の諸問題

B会場(北大食堂)

総合講演 9:30~12:00

冷却材別にみた原子炉型の工学的比較論

総合講演 13:00~14:30

動力炉開発のための燃料材料に関する諸問題

総合講演 14:30~16:00

熱除去実験ループによる研究開発の現状